

1区鈴木優花、区間4位の力走 都道府県対抗女子駅伝

秋田魁新聞より 2020.01.13

第38回全国都道府県対抗女子駅伝は12日、京都市のたけびしスタジアム京都（西京極陸上競技場）発着の9区間、42・195キロで行われ、本県は2時間23分10秒の30位だった。

秋田県はどの選手もオーバーペースでレースを進めたが、最後まで持ちこたえることができなかった。児玉弘幸監督（大館鳳鳴高教）は「選手たちは頑張ってくれた。今後はスピードに加え、耐久力も強化したい」と話した。

1区では長崎の広中璃梨佳（日本郵政グループ）が中盤から抜け出して区間新をマークしたが、鈴木優花は冷静に対処した。自分のペースで走ることに切り替え、広中と44秒差の区間4位でたすきをつないだ。「難しい展開だったが、体調を考えればいいレースができた」と振り返った。

本県は今大会から3カ年で8位入賞を目指す計画を立てている。目標達成にはユニバーシアード女子ハーフマラソン優勝や、全日本大学女子駅伝で区間賞獲得などの活躍が目覚ましい鈴木への走りが欠かせない。「今後どの区間を走るかは分からないが、順位を押し上げる役割を果たせるよう来年以降も頑張りたい」と話した。



【秋田県区間記録】

- ▽1区 = (4) 鈴木優花 (大東大) 19分23秒
- ▽2区 = (28) 阿部円海 (横手清陵高) 13分10秒
- ▽3区 = (39) 津谷咲姫 (鷹巣中) 10分18秒
- ▽4区 = (23) 萩野真紀 (ルートインホテルズ) 13分34秒
- ▽5区 = (31) 武内わかな (東北福祉大) 14分5秒
- ▽6区 = (30) 柳館禎乃 (花輪高) 14分4秒
- ▽7区 = (33) 吉川真央 (大曲高) 13分45秒
- ▽8区 = (36) 津谷舞姫 (鷹巣中) 10分51秒
- ▽9区 = (32) 藤田正由加 (ルートインホテルズ) 34分0秒